

## 登壇者紹介



大場弘行氏



加藤彰彦氏



大島貴美子氏



金澤信之氏



中西新太郎氏



吉澤肇氏

**【大場弘行氏】** 2001年、毎日新聞入社。阪神支局、大阪社会部、東京社会部、サンデー毎日編集部などを経て16年から現職。公文書管理問題をテーマにしたキャンペーン報道「公文書クライシス」や調査報道などを担当している。

**【加藤彰彦氏】** ワーカーズコープ顧問 沖縄大学前学長。横浜国立大学卒業後、小学校教諭、横浜市職員（寿生活館、児童相談所）などを経て、横浜市立大学教授、沖縄大学教授、同学長を務める。沖縄大学名誉教授。「裸足の原始人たち—寿地区の子ども」（田畑書店）で第1回日本ノンフィクション賞受賞。「まちに暮らしの種子を蒔く—いま、この時代を生き抜くために—」（社会評論社より2018年11月20日出版）。

**【大島貴美子氏】** 1977年、神奈川県の実家の一室から、麦っ子畑保育園を始める。ノンカリキュラムで年の行事に沿って、0歳児・年長・学童までゴチャゴチャと一緒に生活する、という保育スタイルを続ける。開園10年目から園の給食を、牛乳、砂糖、玉子を使わない「本来日本人が食べてきた和食給食」に切り替え、自然に感謝していただく。2017年から認可保育園として新たにスタートした。

**【金澤信之氏】** 2018年3月まで神奈川県立高等学校の国語科教員として勤務。2014年12月から同校の図書館内に、NPOが運営する「びっくりカフェ」をオープンし、在校生や卒業生の居場所づくりの活動を行った。2018年まで、横浜市子ども若者支援協議会委員、横浜市子ども子育て会議臨時委員、かながわ子どもの貧困対策会議委員。現在、一般財団法人神奈川県高等学校教育会館教育研究所特別研究員、東洋大学非常勤講師。

**【中西新太郎氏】** 関東学院大学教授、横浜市立大学名誉教授。現代日本の子どもたちがどのような成長の難しさにつづかっているか、子育ての困難に直面している家庭の共同の力をどのように育んでゆか、人間同士の豊かなコミュニケーションを生み出す文化とはどんなものか、などについて関心を持ち、検討している。また、貧困と格差が広がる現在の社会で、真に人間関係を産み出す視点や技法（アート）の究明を志す。

**【吉澤肇氏】** 美術品を扱う仕事に従事。8年前に妻がくも膜下出血で倒れ、リハビリが必要となったため、仕事を辞めてサポートすることに。6年前に市営上九沢団地に移り住む。夫婦の終の棲家として選んだ団地で直面したのは、同じ団地に住む子どもたちの暮らしの荒廃ぶり。団地管理組合の委員になったことをきっかけに、安全パトロール、民生委員児童委員も務め、「子どもの居場所くすのき広場」の提案をする。

## 会場案内

### 関東学院大学 金沢八景キャンパス

〒236-8501 横浜市金沢区六浦東 1-50-1

#### 【交通案内】

電車：京浜急行線「金沢八景駅」下車徒歩15分

バス：金沢八景駅より、京急バス

「内川橋」下車、徒歩3分。



## お申込み

参加ご希望の方は、下記欄に記入の上 FAXにてお申込みください。

なお定員になり次第、受付を終了とさせていただきます（定員350名）。ご了承ください。

↓ FAX 番号 03-6907-8031 (担当：古賀・奥平) ↓

ふりがな 氏名	連絡先（電話番号・メールアドレス）	所属又は住所
ふりがな 氏名	連絡先（電話番号・メールアドレス）	所属又は住所

※急な変更等でご連絡する場合がありますので、連絡先欄は必ずご記入ください。

※ご提供いただいた個人情報は、フォーラム申込み以外の目的には一切使用しません。